

数字で見る若葉学区の“今”



《人口の構成》

出典／彦根市（平成28年1月31日現在）

	0～4歳	5～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	合計
人数	128人	701人	1,094人	1,902人	766人	4,591人
構成率	2.8%	15.3%	23.8%	41.4%	16.7%	

《世帯数や高齢化率等》

出典／彦根市（平成28年1月31日現在）

世帯数	1,633世帯	高齢者のみの世帯数	131世帯
高齢化率(65歳以上)	16.7%	1人暮らし高齢者数	128人

「高齢者のみの世帯数」には「1人暮らし高齢者の世帯」は含まれません。

《若葉学区の人口推移》

出典／彦根市統計書（各年10月1日現在）

	0～14歳	5～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	総人口	高齢化率	世帯数
平成23年	138人	898人	1,154人	1,981人	537人	4,708人	11.4%	1,552
平成24年	148人	856人	1,147人	1,986人	576人	4,713人	12.2%	1,575
平成25年	157人	788人	1,130人	1,953人	635人	4,663人	13.6%	1,606
平成26年	139人	736人	1,095人	1,936人	696人	4,602人	15.1%	1,611
平成27年	132人	714人	1,088人	1,918人	760人	4,612人	16.5%	1,631

《自治会別高齢化率》

出典／彦根市（平成28年1月31日現在）

ニュータウン1区	ニュータウンII期	南ローズタウン	ニュータウン3区	ニュータウン第4	サンタウン	マイタウン
20.2%	25.9%	17.0%	25.6%	18.3%	16.3%	15.5%
すずらん	ピックタウン	ドリームタウン	レインボータウン	オークタウン	オークハイツ	スマイルタウン
21.9%	13.9%	11.6%	13.6%	11.6%	4.3%	0%
彦根市						23.3%

若葉学区住民福祉活動計画

策定：若葉学区住民福祉懇談会

編集・発行：社会福祉法人彦根市社会福祉協議会

〒522-0041 彦根市平田町670 彦根市福祉センター別館1階

【でんわ】(0749)22-2821 【ファックス】(0749)22-2841

【ホームページ】<http://www.hikone-shakyo.or.jp>



こちらからHPをご覧ください

2016 >>> 2019

計画期間／この計画は、2016年度(平成28年度)から2019年度(平成31年度)の間で取り組むものです。

わかちあい かがやける ばしょ 若葉

若	葉	学	区
住	民	福	祉
活	動	計	画

このまちに暮らす住民同士、楽しいことも、時にはしんどいことも、互いに共感し、支えあえる地域でありたい。
一人ひとりの存在を認めあい、誰もが自分らしく生きるまちでありたい。

そんな思いを合言葉に込め「安心して住み続けられる、ふれあいのまち若葉」をめざします。



写真協力／彦根市立若葉小学校

この計画を作成するにあたり、福祉活動やまちづくりに携わる住民の方々にご参加いただき、学区内の課題や求められる取り組みなどについて、話しあいを重ねてきました。「こんなまちになったらいいな」「こんなまちにしていきたい、していこう」と、みなさんの声や思いをもとにつくりました。これからの福祉のまちづくりについて、みんなで考え取り組んでいくためのひとつの道しるべとなって、それぞれの地域で具体的な実践につながっていくことを願っています。

ひと声添えて あいさつから始めよう

わか
か
ぼ
かちあい
がやける
しょ 若葉

できたての新興住宅地として、市内外の各地から移り住んだ人たちが暮らしてきた若葉学区。新しい町も歴史を重ね、閑静な住宅地として豊かな街並みを見せています。それぞれの時代の人たちが、その時のニーズに合わせた課題に取り組む地域活動を展開し、そのひとつひとつの歩みが現在へとつながっています。そうした年月を経て、このまちもこれから熟成の時を迎えようとしています。10年後も20年後も、誰もが安心して住み続けられるまちであるように、互いにつながり支えあう地域へと、今から少しずつ、できることから実行していきたい。

まずは、最初の一步から・・・

「おはよう」や「こんにちは」に、「お元気ですか」「お変わりありませんか」と思いやりのひと言を添えるあいさつから始めましょう。



子どもが思いっきり遊べるまち

- 子どもたちの安全を地域のみんなで見守ろう
- 伸び伸び遊べる公園、集える場所を整えよう
- 地域の成り立ち、大事にしてきたことなどの話を子どもや若者に伝え、まちを大切に思う心を育もう



高齢になっても安心して住み続けられるまち

- ふれあいサロンやクラブの活動を実りあるものにしよう
- ご近所同士「お互いさん」の心で、緩やかに見守り支えあう関係を築いていこう



ボランティア活動が活発なまち

- 一人ひとりがそれぞれの役割を持ち、力を発揮できる機会をつくろう
- 誰でも気軽に参加できる行事や交流の場で仲間づくり・生きがいづくりをすすめよう